

たきざわ通信

事務連絡
平成 26 年秋号

春日部市議会議員
滝澤 英明

URL : www.takizawa-hideaki.jp/

たきざわ英明後援会事務所 〒344-0063 春日部市緑町 6-14-34 TEL・FAX 048-736-7832

皆様のご支援のおかげをもちまして3期目当選させていただきました



ご挨拶

4月の選挙では皆様のご支援、ご協力を頂き当選することができました。感謝申し上げます。
3期目は議会選出の監査委員になり重くその責任を痛感しております。
常任委員会は、総務委員会の所属となりました。現在春日部市では監査委員は3名の体制です。
議会選出の監査委員は議員の中では私だけです。議員の立場からの視点も加えた監査を精一杯行っております。監査委員は、議会での質疑、討論、一般質問などが制限されております。「議会だより」などの市の広報に登場出来ないことは大変残念なことです。定期的な学校などの公的施設の現地監査や毎月の会計監査を始め、「春日部市公営企業会計決算審査意見書」「春日部市一般会計・特別会計決算審査意見書」「春日部市財政健全化・経営健全化審査意見書」を市長と議会へ提出しています。今まで以上に、皆様の気持ちに応えるべく市議会議員として努力しておりますので、今後とも、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

春日部市議会議員 滝澤英明

新市立病院の建設工事について

新病院建設工事は、春日部市の3つの部門が同時平行で行っています。

新市立病院の建設工事の進捗状況について

(1)新病院整備課

■これまで（準備工事→地下^{くたい}躯体工事）

○7月下旬より、建設地の整地工事、建設地外周部の仮囲い及び工事車両出入口設置工事、現場事務所設置工事などの準備工事に着手し、8月下旬に完了

○8月31日（日）に起工式典開催

○9月より、杭工事、基礎工事などの地下躯体工事に着手

■現在（地下躯体工事）

○地面を掘削する際に地盤が崩れないように鋼製の板を打ち込む山留工事と杭工事（※）、及び基礎工事のための掘削を進めている。

※ 杭の総本数は163本、うち主な杭は長さ約40mで135本

○山留工事と杭工事は、11月中旬に完了予定

○掘削は10月下旬から着手しており、11月下旬から鉄筋組立、コンクリート打設などの基礎工事を順次行っていく。

■これから（地下躯体工事→地上躯体工事→仕上げ工事）

○基礎部分には建物全体の約1/3のコンクリートを使用するほか、免震装置の設置（1月予定）も行うため、基礎工事は来年の3月中旬頃まで続く。

○基礎工事が完了した後、地上躯体工事に着手し、出来上がった階層から順次、内装工事、外装工事などの仕上げ工事を行う。

○また、平成27年度には新病院建設工事と併せて、立体駐車場建設工事と外構工事を行い、平成28年3月中旬の竣工となる。

新病院関連庁舎整備事業に係る工事の進捗状況について

(2)管財課

■これまで（本庁舎附属建物の解体工事）

○1月末より、本庁舎敷地内の東側駐輪場・印刷室の解体工事を実施し、6月末に完了。

○8月下旬より、本庁舎敷地内の駐輪場、第1・第2プレハブ庁舎の解体工事を実施し、10月下旬に完了。

■現在（立体駐車場の改修工事）

○11月上旬より、本庁舎立体駐車場の一部分の解体・改修工事に着手し、3月中旬に完了。

■これから（本庁舎附属建物の改修工事、仮設駐車場の開放）

○11月上旬より着手する本庁舎立体駐車場の改修工事に伴い、駐車台数が減少することから、第1・第2プレハブ跡地を、仮設駐車場として3月末日までの間使用する。

○11月中旬より、別館・第2別館・書庫車庫印刷室棟の防火設備の改修工事に着手し、3月中旬に完了。

○12月中旬より、旧中央町第1公園内に設置されていた、石碑・石像・タイムカプセルの記念碑を本庁舎敷地内に仮設置する工事を実施。3月上旬完了予定。

新病院周辺整備事業に係る工事の進捗状況について

(3)道路建設課

■これまで（準備工事、占用物移設工事）

○平成26年度は、会之堀川に架かる橋りょう工事、市役所・新病院東側と南側の一部の延長約240mの道路、雨水地下貯留施設の工事を実施している。

○8月上旬より、施工方法の検討、各種手続き、関係機関との調整などを行うとともに、工事に支障となる電柱やガス管などの移設工事、市役所内の構造物撤去などを行った。

（電柱の抜柱は10月末に完了。）

○工事による上空の電線類の破損を防止するため、隣接する電線類に防護管（黄色いカバー）を設置した。

■現在（橋りょう工事、雨水地下貯留施設工事）

○11月上旬より、橋りょうと雨水地下貯留施設の本体工事に着手する。

○平成26年11月4日から平成27年3月までの予定で、市役所交差点脇の橋りょう部を通行止めとするほか、市役所東側の道路においても片側通行などの通行制限を行う。

○橋りょう部において、既存の橋りょうの取り壊しを行う前に、掘削面の崩壊と安全に施工するため鋼製の矢板を地中に圧入する土留め工事を行うほか、地下貯留施設部においても、11月中旬頃から山留め工事を順次施工していく。

○全ての山留め工事の完了は12月中旬を予定している。

○山留め工事の完了後、既存の橋りょうの取り壊し、道路の掘削等を行い、掘削完了後にボックスカルバートを設置していく。

（橋りょう部断面：縦2m横7m 雨水地下貯留施設断面：縦2m横2m）

○橋りょう部及び地下貯留施設部のボックスカルバートの設置は2月中旬の完了を予定している。

■これから（道路工事）

○橋りょう及び雨水地下貯留施設の完成後、道路工事に着手する。

○地盤改良、側溝敷設、歩車道境界ブロックなどの設置後、舗装を行い完成となる。

○すべての工程の完成時期は、概ね3月中旬を予定している。

○平成27年度は、市役所・新病院の西側と南側の一部の延長約360mの道路、雨水地下貯留施設の工事及び、外周道路に取りつく市道4路線の工事を予定している。

○工事時期は、本年度同様、関係機関との調整や支障物件の移設等を7月頃から取り掛かり、9月頃からは道路、雨水地下貯留施設の工事に着手し、平成28年3月中旬の完成を予定している。

春日部市の借金はどのくらいあるのか 全体（特別会計、企業会計、土地公社含む）でどのくらいあるのか また、その利子返済は どのくらい支払っているのか

市債等の残高は、平成25年度末時点で、一般会計が約660.2億円です。国保などの特別会計、水道等の企業会計、土地開発公社などを含めると、市全体での総額は、約1,280億円です。なお、同様に、平成25年度中に支払った利子の総額は、約21億円です。しかし、国が定めた財政健全化判断基準においては、条件を満たし健全な範囲です。

合併特例債はどのように使われているのか

1. 発行可能額

24,967,100 千円

※発行可能額は、合併後人口をもとに計算されたものです。

発行可能年数

平成 18 年度から平成 27 年度までの 10 年間

※なお、合併特例債は合併以後 10 力年（平成 27 年度まで）の活用とされていましたが東日本大震災を契機に法改正が行われ、春日部市では 5 力年の延長が可能となっている（平成 32 年度まで）ことから、関係部局において、検討を進めています。

3 充当実績(平成 25 年度決算まで) (単位：千円)

事業名	発行額
藤塚米島線整備事業	3,770,800
南桜井駅周辺整備事業	3,254,100
子育て支援施設整備事業（A 街区）	2,435,800
庄和総合支所整備事業	317,600
地域振興ふれあい拠点施設整備事業	1,847,600
春日部駅西口環境整備事業	489,200
新病院整備出資債	27,000
中央通り線整備事業	597,300
東中学校校舎改築事業	657,100
小中学校耐震補強事業（校舎・体育館）	3,249,300
新病院周辺整備事業	11,200
合計	16,657,000

発行可能残高は 24,967,100 千円－16,657,000 千円＝**8,310,100 千円**

平成 25 年度決算まで（平成 18 年度～平成 25 年度）約 66.7%を活用

基金（貯金）はどの位あるのか (単位：千円)

区分	H25 年 3 月末現在高	H25 年度中増減高	H26 年 3 月末現在高
財政調整基金	4,141,562	747,701	4,889,264
国民健康保険の 保険給付費支払基金	105	0	105
公共用地及び施設取得 又は施設整備基金	2,990,114	893,872	3,883,986
緑のまちづくり基金	10,189	△ 2,619	7,569
ふじ福祉基金	322,695	3,721	326,417
減債基金	503,197	△ 99,611	403,586
介護保険給付費準備基金	1,205,209	△ 276,306	928,902
西金野井第二土地 区画整理事業減債基金	148,643	15,875	164,518
中心市街地活性化基金	30,168	25	30,194
地域振興基金	2,705,576	102,385	2,807,961
環境にやさしいまちづくり基金	—	50,000	50,000
合計	12,057,462	1,435,043	13,492,506

各基金の平成 26 年 3 月末現在高の総額は 13,492,506 千円で、平成 25 年 3 月末現在高の総額 12,057,462 千円に比べ 1,435,043 千円の増となっています。